

## MS Office 2010 の操作説明用動画教材の作成

総合情報基盤センター 技術補佐員 牧野 久美  
総合情報基盤センター 教 授 木原 寛

### 1. はじめに

先に、教養教育の「情報処理」科目において、学習者の自学自習によって習熟度の差を埋めることを目的とし、MS Office の操作を Flash ムービー化した動画教材を作成した。<sup>1)</sup> 学生に対する評価アンケートの結果では、「自主学習の役に立った」という評価が多数得られ、有効性が実証された。<sup>2)</sup> また、学生の自主学習を促進するため自宅からも利用可能なように学外からアクセス可能としていることから、本学学生以外にも利用されている。2011年2月に、情報教育用端末室 WindowsPC には MS Office 2010 が導入されることとなり、教材も作成し直す必要が生じた。そこで、平成22年度の評価アンケートの結果を分析し、その結果をもとにより使いやすく改良した動画教材を作成することを試みた。

### 2. 平成22年度学生評価アンケートの結果

#### 2-1 アンケートの実施方法

アンケートは、平成22年度前期に開講した「情報処理」3クラスの受講者を対象としてオンラインで実施した。Word、Excel および PowerPoint の学習が一通り済んだ段階で調査し、有効回答数は192名であった。主な回答項目は、以下の通りである。

- 1) Word、Excel 及び PowerPoint の経験度
- 2) 動画教材を利用したかどうか。
- 3) 説明のわかりやすさはどうであったか。
- 4) 自習する上で役に立ったかどうか。
- 5) 教材の良いと思われる点
- 6) 教材について改善が必要だと思われる点

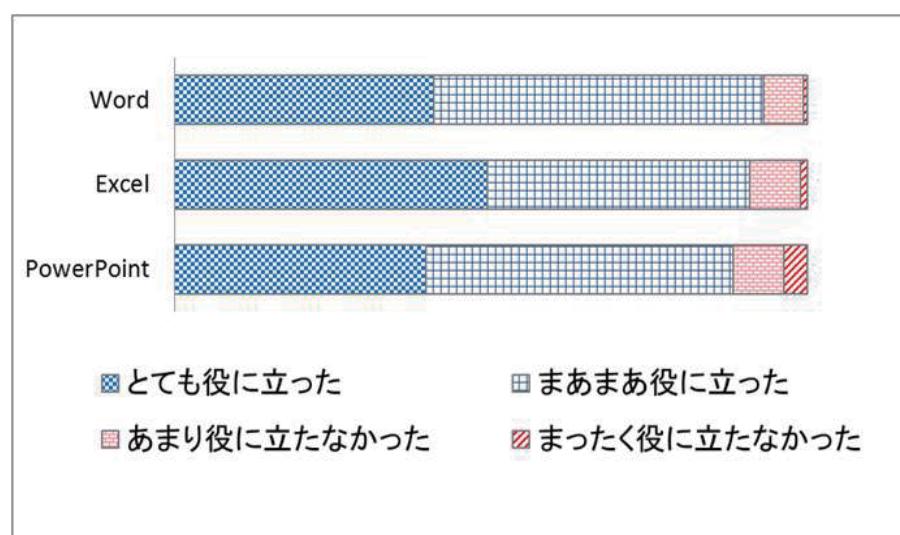


図1 各教材が自習する上で役に立ったかどうかの割合

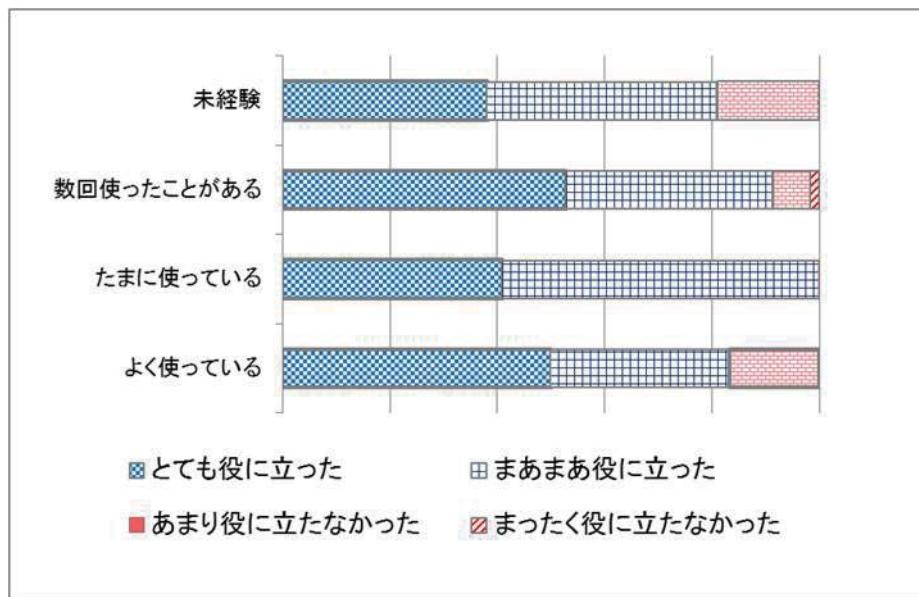


図2 教材が学習する上で役に立ったかどうかの割合(Excelの経験度別)

## 2-2 アンケートの結果から

Word、Excel および PowerPoint のいずれの教材についても、利用者の約 90% から自主学習の際に役立ったという回答を得られた。(図1) 「役に立たなかった」という回答の要因を探るため、アプリケーションの利用経験度別に集計してみたところ、たまに使っている利用者に比べ、「未経験」と「よく使っている」利用者の場合には「役に立たなかった」とする回答の割合が高いという傾向が見られた。(図2) これは、「未経験」者にとっては、一部の教材の難易度が高すぎ、「よく使っている」利用者にとっては教材の内容や説明のレベルに利用しにくいと感じるところがあるためと解釈される。

「改善が必要だと思われる点」について問うた自由記述では、「動画の速度が遅すぎる」、「動画の速度が速すぎる」、「タイトルの内容がわかりにくい」、「操作の目的がわかりにくい」等の回答が寄せられた。

## 3. 動画教材の改善点

アンケートの分析結果をもとに、新しく教材を作成するに当たって、次のような点を改善することとした。

- 1) 動画の速度が速すぎてわかりにくいという問題への対応として、項目をできるだけ細分化し、1つのムービーの長さを短く簡潔なものにした。吹き出し解説は、同じ操作に関する説明を省き簡素化した。(図3)
- 2) メニューの項目タイトルを内容をより適切に表現するよう工夫した。何を学習するのかが事前に伝わるようなシナリオ構成にした。(図4)
- 3) 「動画の速度が遅い」という経験度の高い利用者への対応として、内容により別ページに HTML による解説ページを用意して、必要な部分のみの情報を手早く得られるようにした。
- 4) 関連する他のページにアクセスしやすくするため、リンク先をわかりやすく表示した。

- 5) 端末室 PC のディスプレイの大型化に合わせて、ムービーのサイズを拡大し 1024×768 ドットに設定した。これにより、今まで一部を縮小したり画面の一部だけを切り取っていた操作が不要になり、より見やすい教材となる。文字のサイズも 2 ポイント拡大した。
- 6) リボンのボタンを選択する基本的な操作方法の他に、ミニツールバーやショートカットメニューを活用するなど、別の便利な方法について解説する項目を増やした。
- 7) 教材全体により統一感をもたせるため、スライド、吹き出し、コントロールバーなどの色や種類を統一してデザインを標準化した。

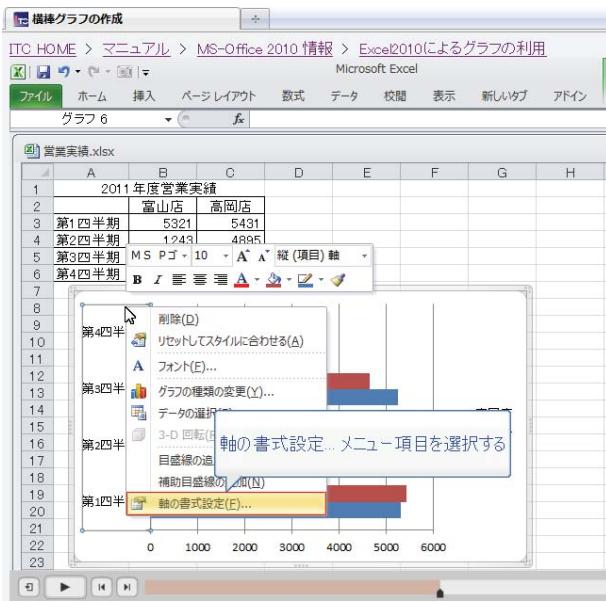


図 3 動画教材の例



図 4 メニュー画面の例

#### 4. まとめ

今後、学生の PC 操作の経験値は年々上昇すると予想される一方、所属学部や個人の関心の高さ、利用頻度によって習熟度の差は常に生ずると思われる。これ迄の基本編に加え新たに応用編を設けるなど、教材の内容を発展させ充実させていきたい。また、既存の教材についても継続的にフィードバックを行い、学習者の主体的な学びを支援するよりよい教材づくりを進めていきたい。

#### 文献

- 1) 牧野久美, 木原 寛, 「MS Office 2007 の操作説明用動画教材の作成」, 富山大学総合情報基盤センター広報, Vol.5, p. 97-98 (2008)
- 2) 木原 寛, 牧野久美「リテラシー科目での個別学習に資するための PC 基本操作説明用動画教材」, 平成 20 年度情報教育研究集会講演論文集, p. 539-540 (2008)